

国民の健康を取巻く現状と課題

- 高齢化
- 疾病の慢性化, 複合化
- 人間関係の過疎化

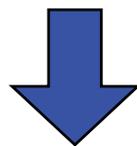


疾病の予防, 継続的ケア
闘病への支援(介護, リハビリ)
QOLの向上, 生きがい感の回復

17

地域医療への取り組み

健康教室、疾病予防から治療、
リハビリテーション、在宅ケアまで



一貫した**全人的、包括的医療**の実践
多職種連携の促進

18

医師不足

- 養成数の不足
- 医療需要と医師数との不均衡

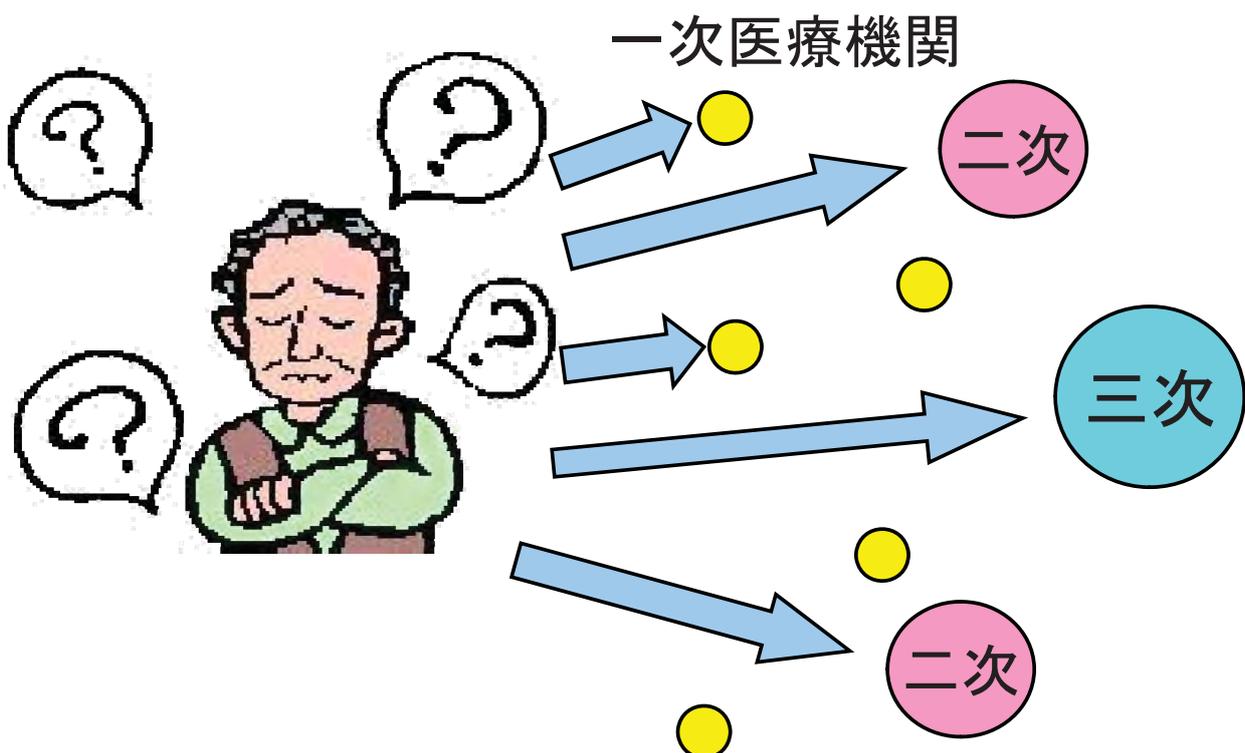
世界標準に比し数倍の病床数と受診患者数

- 質の確保が困難
- サービスの低下、医療事故・ミスが増大
- 患者の不安・不満が増大

➡ **医療者の献身的努力に限界**

19

医療の流れ(現在)



20

住民の医療機関の選択

- うわさ、イメージによる選択
- 大病院、専門医志向
- 権利意識の台頭

⇒その結果・・・

- とまどい、不信感の増大
- 多数の医療機関・診療科の受診
- 特定医療機関への集中

21

1,000人の米国住民の医療機関受診状況

開業医	217 人	79.5 %
在宅	14	5.1
救急外来	13	4.8
病院 外来	21	7.7
入院	8 *	2.9
計	273	100

*大学病院 0.7人

(Green LA et al : NEJM 2001 ; 344 : 2021)

22

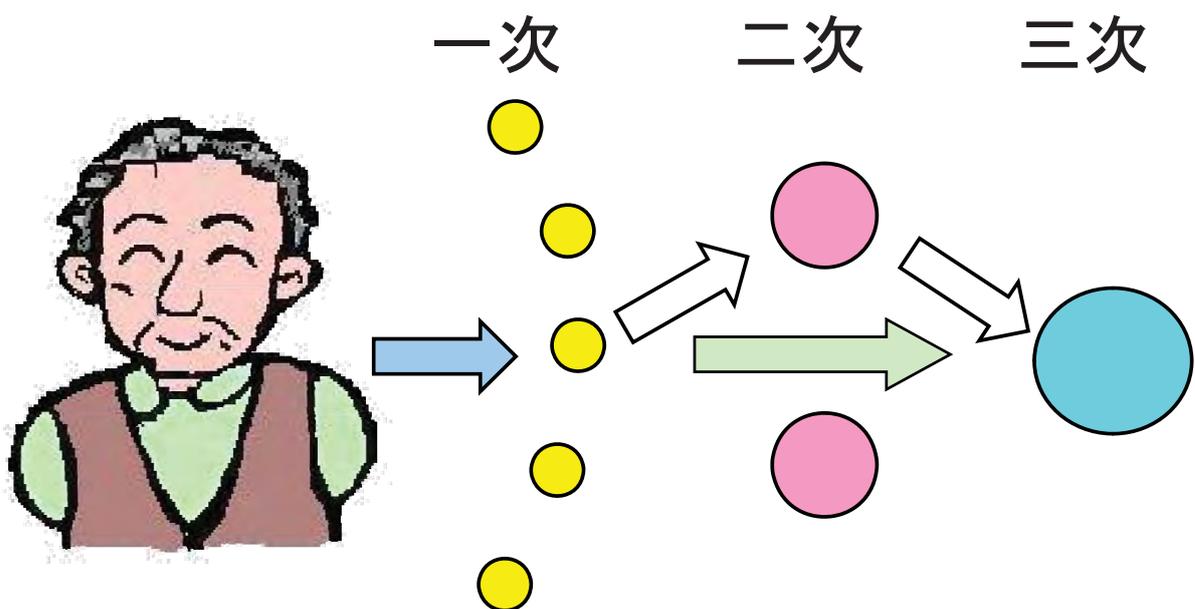
1,000人の住民のうち1ヶ月間に
307人が医療機関を受診

開業医		232 人
救急外来		10
一般病院	外来	88
	入院	7
大学病院	外来	6
	入院	0.3

(Fukui T et al : JMAJ 2005 ; 48 : 163)

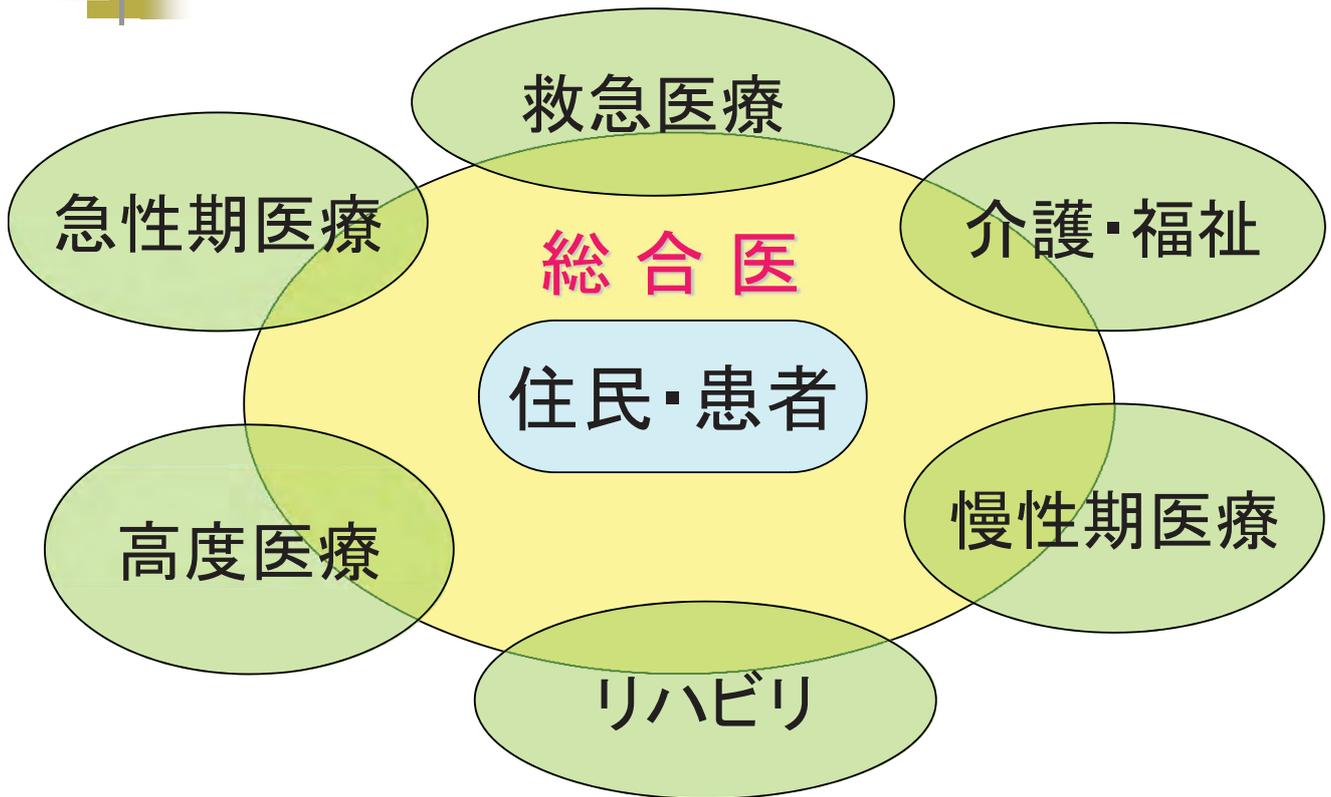
23

医療の流れ(理想)



24

これからの医療連携体制



25

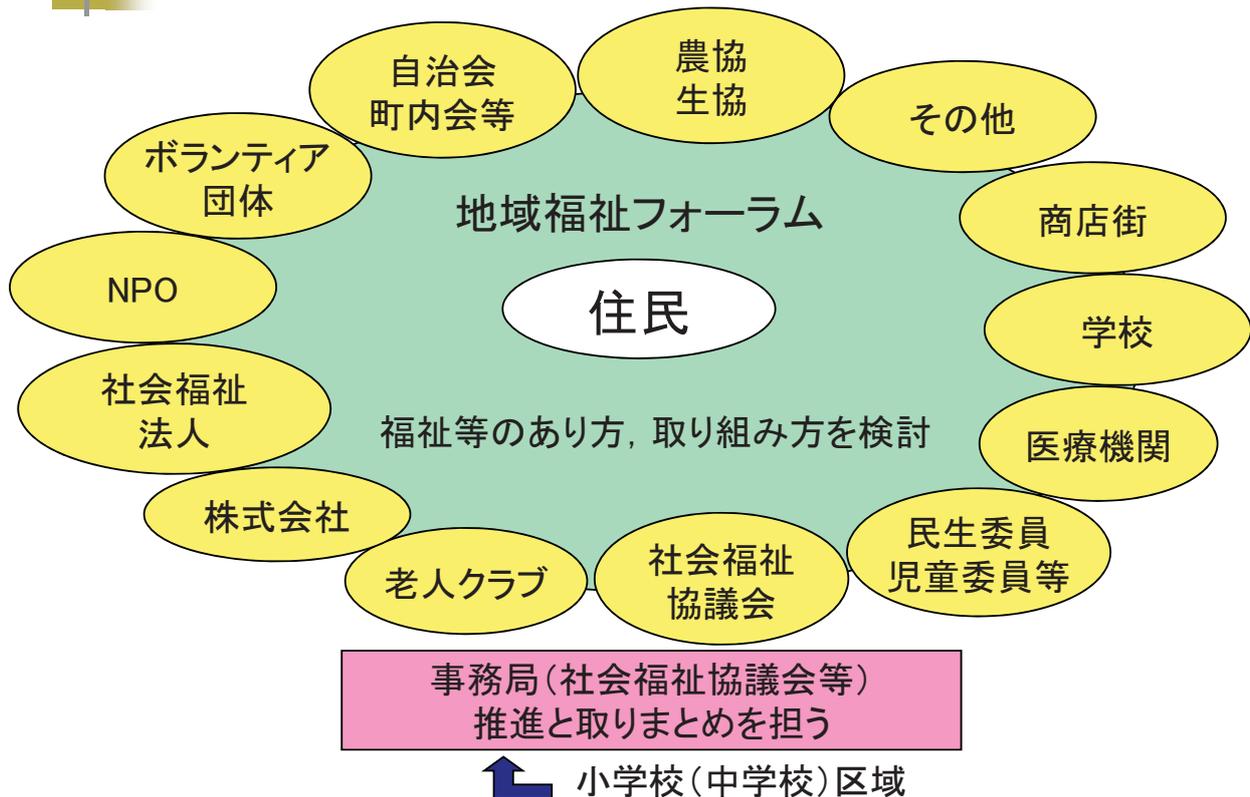
地域福祉を支える団体(組織)



26

地域福祉フォーラム

(千葉県地域福祉支援計画2004年)



27

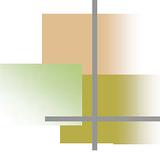
これからの福祉

規格化されたサービス・ケア

→ オーダーメイド化へ

- 小規模・多機能・地域密着
- 社会資源の効率的・効果的活用

28



『医療の流れ』づくりの基本

- 医療機関の機能分担・連携
- 総合医の育成・定着
- 住民への啓発・啓蒙
- 相互の信頼と理解・協力

29



「何でも相談できる医師」の役割

(総合医、家庭医、プライマリ・ケア医)

- 一般的な病気の診断と治療
- 初期救急
- 適切な紹介
- 慢性疾患の長期管理
- 健康増進と疾病予防
- 医療チームにおけるリーダーシップ
- 全人的, 包括的医療

30

「何でも相談できる医師がいますか？」

➔ 「ハイ」

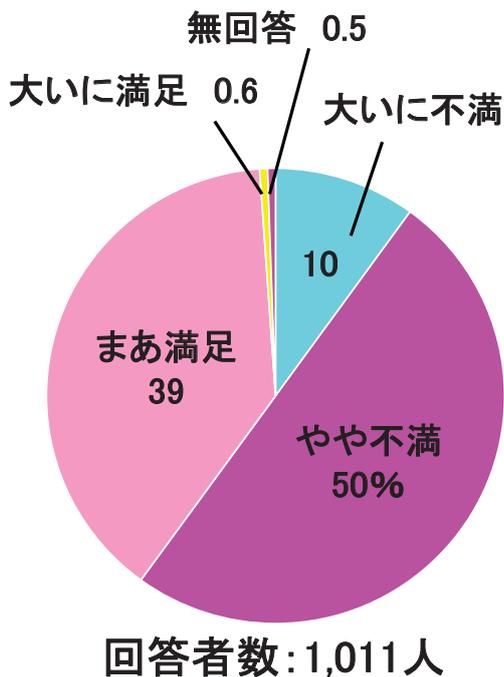
A町(人口 5,275人) 約 33%

B村(人口 2,082人) 約 80%

31

医療に対する全般的満足度(1)

問：あなたは現在の医療制度にどの程度満足していますか？



《回答者の内訳》

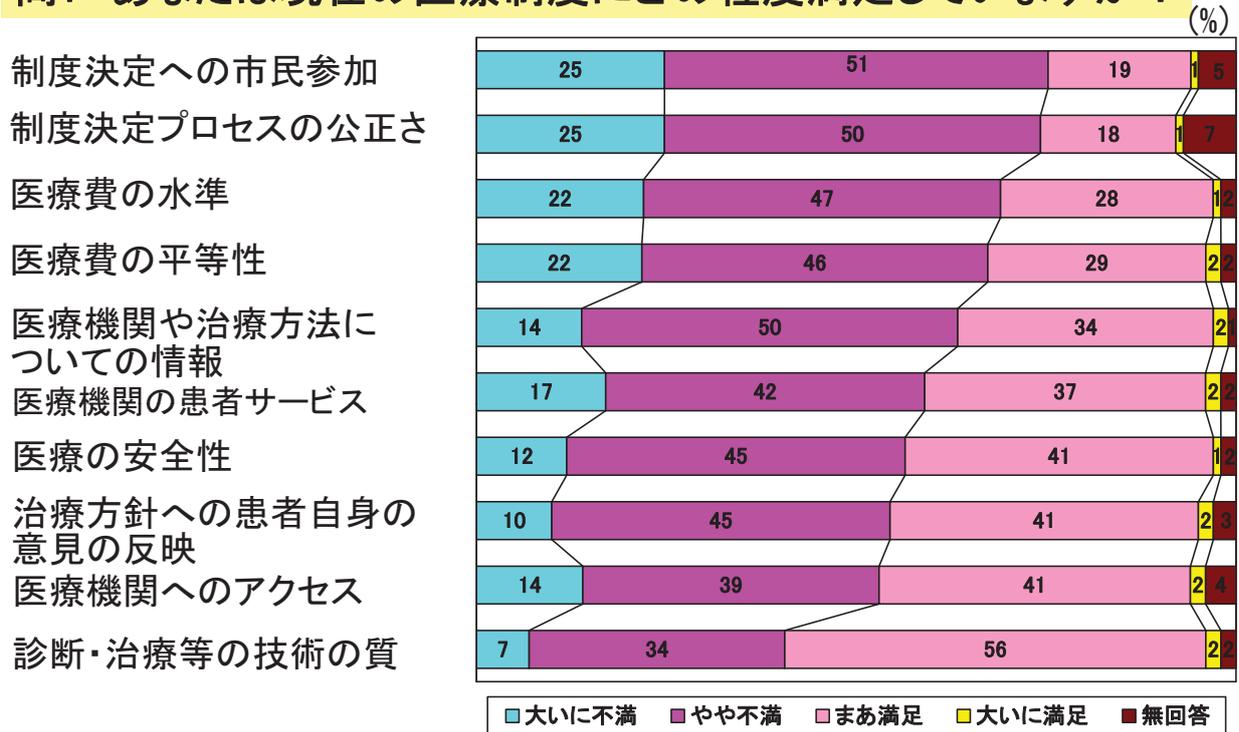
年齢		性別	
20代	9%	男性	55%
30	13	女性	43
40	14	無回答	2
50	25		
60	30		
70以上	8		

資料: 特定非営利活動法人 日本医療政策機構
「医療政策に関する2006年世論調査」

32

医療に対する満足度(2)

問：あなたは現在の医療制度にどの程度満足していますか？



33



参加無料

地域医療を考える 県民フォーラム

2006.11.19 SUN 9:30~16:40 開場/9:00

青森市文化会館

基調講演 「わが国の医学・医療をめぐる諸問題」

高久 史磨氏 自治医科大学学長

パネルディスカッション 「青森の地域医療を考える」

コーディネーター 梶井 英治氏

パネリスト 三村 伸吾氏、依藤 敏彦氏、佐藤 俊氏、佐々木 義博氏、角田 周氏

地域分科会 「安心して受けられる地域医療とは」

2006.11.19 10:00 開場

青森市文化会館

基調講演 「わが国の医学・医療をめぐる諸問題」

高久 史磨氏 自治医科大学学長

パネルディスカッション 「徳島の医療を考える」

コーディネーター 梶井 英治氏

パネリスト 三村 伸吾氏、依藤 敏彦氏、佐藤 俊氏、佐々木 義博氏、角田 周氏

地域分科会 「安心して受けられる地域医療とは」

2006.11.19 10:00 開場

青森市文化会館

地域医療を考える 県民フォーラム

安心して暮らせる明日のために



みんな参加してね!

平成19年 12月15日(土) 10:00~16:50

ホテルクレメント徳島

基調講演 「わが国の医学・医療をめぐる諸問題」

高久 史磨 (自治医科大学学長・日本医学会会長)

パネルディスカッション 「徳島の医療を考える」

とくしま円卓会議

分科会 (県民参加型)

分科会報告会 (全体会議)

お問い合わせ: 徳島県保健福祉部 保健福祉政策課 TEL:088-821-2165 FAX:088-821-2835

34

診察室から地域の中へ

住民の中へ

- 健康の守り方
- 病気の知識、対処する術
- 地域医療づくりについて

子ども達の中へ

- いのちのこと、からだのこと、健康のこと
- 病気と生活習慣のこと
- 応急処置のこと

35

健康、医療についてみんなで考えてみましょう

- 取り組もう 健康づくり
- 身近に持とう
なんでも相談できる医師
- 守り育てよう
みんなのわたしたちの地域医療



36

地域力

一人の力は小さくても



皆の輪が大きな力を生み出します

37

地域医療の確保・充実策の方向性

- 地域という枠組みの再構築
- 住民が参加する地域医療づくり
- 地域医療を担う総合医の育成
- 地域医療機関間の機能分化と連携
- 地域医療を支援する体制の充実
- 各都道府県あげての地域医療体制の構築

38